

令和3年度 第1回さいたま市行政デジタル化計画評議会 議事概要		作成日:令和3年6月18日
議 題	令和3年度 第1回さいたま市行政デジタル化計画評議会	
日 時	令和3年6月8日(火曜日) 14時00分 ~ 15時30分	
場 所	オンライン会議	
出席者 (敬称略、 順不同)	評議会委員:吉浦会長、宮本副会長、秋山委員、江原委員、岡田委員、高橋委員 事務局(デジタル改革推進部):石崎参事、須藤主査、西田主事、谷田主事	
欠席者 (敬称略、 順不同)	-	
議事項目	1 開会 2 会長・副会長の選任 3 さいたま市行政デジタル化計画アクション・プランの事業評価について 4 閉会	
公開・非公開 開の別	公開	
傍聴人数	0人	
資 料	・令和3年度さいたま市行政デジタル化計画評議会委員名簿 ・さいたま市行政デジタル化計画評議会設置要綱 ・さいたま市行政デジタル化計画アクション・プラン事業計画一覧(全体) ・さいたま市行政デジタル化計画アクション・プラン事業計画一覧(令和3年度)	

*** 決 定 事 項 ***

1	さいたま市行政デジタル化計画評議会設置要綱第5条第1項に基づき、会長に吉浦委員、副会長に宮本委員が選出された。
---	---

※※※ 要 対 応 事 項 ※※※	担当者	締切日
なし		

議 事 概 要

(以下、敬称略)

■ 1 開会

■ 2 会長・副会長の選任

- ・ 会長を吉浦委員、副会長を宮本委員とすることが全会一致で決定した。

決定事項1

会議の公開について

- ・ 本会議について公開とすることを確認後、傍聴希望者を確認。
→傍聴者なし。

■ 3 さいたま市行政デジタル化計画アクション・プラン(以下、「アクション・プラン」という。)の事業評価について

(1) さいたま市行政デジタル化計画評議会(以下、「評議会」という。)の概要について
評議会の概要について、次のとおり説明した。

- ・評議会の設置趣旨について
 - ・さいたま市行政デジタル化計画及びアクション・プランの概要について
 - ・評議会委員について
 - ・評議会日程について
- 委員から質問等なし

(2) アクション・プランの事業評価について

アクション・プランの事業評価について、次のとおり説明した。

- ・今年度評価の流れについて
- ・各事業計画について
重点施策に該当し、今年度から新規で事業が開始する以下の5事業について説明した。
1-2-1 「公金収納チャネル多様化事業」
2-1-3 「IT を活用した審査事務の効率化」
2-2-2 「生活保護業務の ICT 化」
2-4-7 「介護認定審査会における web 会議システム構築事業」
4-2-3 「ごみ拾い情報共有アプリの導入」

[質問]

→先ほど新規事業の説明があったが、第四次計画にはなく今回の計画で新しく出てきた項目がどれか印をつけるなどしてほしい。事前配布した資料を見ても分からない。(秋山委員)

- 配布資料を新規事業が分かるような形にして、後日送付する。(事務局)

→本計画は新規事業と継続事業が混ざっているという認識でよいか。(吉浦会長)

- ご認識のとおり。(事務局)

<p>➤いま説明のあった5つ以外にも新規事業があるということか。(吉浦会長)</p> <p>➤この5事業はアクション・プランにおいて重点施策として位置付けられており、かつ新規事業であるため取り上げて説明した。(事務局)</p> <p>→1-2-1「公金収納チャネル多様化事業」の目標について令和3年度は50%、全体の方は60%となっているが、これは誤りではないという認識でよいか。(吉浦会長)</p> <p>➤新たな納付方法を導入した科目の割合について、令和3年度中の目標が50%、計画の最終的な目標が60%ということ。(事務局)</p> <p>→4-2-3「ごみ拾い情報共有アプリの導入」について説明があったが、どんなアプリなのかイメージできなかった。スケジュールに「WEB ページデザイン」とあるが、アプリを導入するならWEB ページは不要ではないか。(吉浦会長)</p> <p>➤現在他自治体等で使われているごみ拾いアプリのようなもので、さいたま市版をイメージしている。市民が拾ったごみの写真やごみの量をアプリに登録することでランキング化等ができるもの。企業として参加すれば清掃活動をアピールでき、ボランティア団体は活動の告知もできる。(事務局)</p> <p>➤数値目標としているアプリの利用者と清掃活動参加者数はリンクするものではないのか。(吉浦会長)</p> <p>➤アプリには登録していないが清掃活動に参加する人や、団体での参加者も想定される。(事務局)</p> <p>→2-1-2「AI-OCR・RPA システムの導入事業」について、令和2年度の実績と同等の時間の削減とあるが、昨年度以上に削減することを目標として掲げないのか。(江原委員)</p> <p>➤AI-OCR と RPA については高齢福祉課で昨年度より本格的に導入しているものであるため、今後も運用を継続し業務処理時間を削減していくことを目標としたもの。(事務局)</p> <p>➤他に AI-OCR や RPA の導入を考えている部署もあると伺っているので、そちらをアクションプランに入れ込んだほうが政策のアピールになると思う。(江原委員)</p> <p>➤AI-OCR と RPA について、新規導入のものと継続のものがどちらかわかるようにしてほしい。(宮本委員)</p> <p>→2-2-2「生活保護業務の ICT 化」について、この業務において紙で銀行に照会をかけているといった現状があるので、タブレットの導入だけでなく、こちらの電子化についても盛り込むと良いのではないかと。(江原委員)</p> <p>→2-3-1「ICT を活用した学校の働き方改革」について、このテストの採点というのは小中学校が対象という認識でよいか。また、負担感・多忙感を感じると回答した職員の割合を目標としている</p>	
--	--

が、こういった感覚的な指標で達成の判断ができるのか。時間の削減などの目標を立てられないのか。(江原委員)

➤ご認識のとおり、このシステムは小中学校での導入を検討している。指標の部分については、所管課としてもシステムの導入によって得られる効果が現段階では読めないとのこと。今後計画が進んでいく中で、新たに別の達成基準が出てくることも考えられる。(事務局)

➤市全体でなくとも、一部の小中学校で試行するなどして、削減目標を明確にしたほうが市民が見たときにわかりやすいと思う。(江原委員)

→2-4-4「タブレット型現地支援システムの導入」について、具体的にどのような機能が追加されるのか。そもそもDX化の目標となるものなのか。(江原委員)

➤今年度からベンダーとの打ち合わせを始めたところで、どういった機能を拡充していくか、どのような新システムにしていくかについて今後把握していきたい。(事務局)

→2-3-2と2-3-3で学校事務の業務効率化を挙げているが、加えて教職員の在宅勤務やテレワークの環境整備についても踏み込んでもらいたい。(宮本委員)

→RPAの話が出てきているところだが、これは市職員が実際にコーディングしているのか。業者に頼んでいるのか。(吉浦会長)

➤デジタル改革推進部業務効率化・インフラ担当の職員がRPAの構築・作成を行っている。事業の所管課で独自に作成するケースも考えられる。(事務局)

➤職員にとっての負担になるのではないか。(吉浦会長)

➤昨年度から本格的に始動したもののため、今後継続していく中でそういった課題が見えてくると考えている。(事務局)

→これらの計画は市として予算があって実行していくと思うが、次回から各計画の予算額についても盛り込んでもらいたい。(吉浦会長)

➤業者が決まっていない場合は入札に影響が出るなどの問題があるため、年度当初の予算の段階で一概に公開することは難しい。(事務局)

➤事情については理解したが、予算規模が見えないとどの事業にどのくらいお金がかかるのか分かりにくい。(吉浦会長)

→2-1-3「ITを活用した審査事務の効率化」を例に挙げるが、これによって電子契約が進むとか、入札の参加資格申請が電子化されるとか、民間企業や市民に直接関係する部分で何が実現できるのかを記載してもらいたい。(江原委員)

➤2-1-3「ITを活用した審査事務の効率化」については、審査課が庁内の書類審査を行う部署であることから、内部の事務効率化を目標としている。このような内部の事務効率化に用いた情

報技術等を民間企業や市民に直接関係する部分に生かせないか、引き続き各課に働きかけていく。(事務局)

➤他の自治体で判子が不要になったなどの話を聞いていて、さいたま市でもそのような取組があるかと思うが、そういった民間企業や市民にとって有益な内容をアクション・プランに盛り込むとアピールになると思う。(江原委員)

→直接計画に係ることではないが、先日さいたま市では DX の提案書を募集し、各企業等から提出があったと思う。ここからアクション・プランに採用されるものがあるのか。(江原委員)

➤現在提出された提案を精査・検討している最中である。今後予算化して実施に向けて動くものもあると考えている。来年3月の評議会の場で報告できるよう準備を進めていく。(事務局)

→7-2-1、7-2-2「高齢者の情報リテラシーの向上」について、この2つは互いに関連のあるものかと思うが、これらの事業の取組について説明して欲しい。(高橋委員)

➤7-2-1 のシニアユニバーシティにおいてはパソコン専門のコースがあり、年 12 回の教室が行われている。7-2-2 の高齢福祉課が所管する老人福祉センターにおいては、今年度からスマートフォン教室を実施する。今年度はコロナの関係もあり、下半期3回を試行的に実施する。(事務局)

→先ほどの質問で講座を 12 回開催するとあったが、これは単発で行うものなのか、それとも継続して受講していくものなのか。(岡田委員)

➤5 月から 12 月までの間で計 12 回の講座がカリキュラムとして設定されているため、継続して受講するもの。(事務局)

➤受講できる人数が限られてしまう部分もあるので、もう少し受講者の幅を広げる取組はないか。(岡田委員)

➤7-2-2 「高齢者の情報リテラシー向上」や 7-3-3 「市民の ICT 活用スキル向上」ではより初心者向けとなるスマートフォン教室を開催している。(事務局)

➤そういった講座についてより市の PR を強化すると参加者が増えると思う。(岡田委員)

→4-1-1 「スマートシティさいたまモデル推進事業」について、美園地区における事業と思われるが、具体的に何がどのように進んでいるのか説明して欲しい。(江原委員)

➤お見込みのとおり、美園地区において実施する事業。事業については行政機関であるさいたま市、民間企業と研究機関によって設立された美園タウンマネジメント協会が推進している。民間企業や学術機関が持っている情報を共通プラットフォームさいたま版として統合管理し、市民生活に生かしていく。現在は美園地区のみだが、長期的には市内全域に広げていくことを最終目標としている。(事務局)

→4-2-4 「スポーツシュレ事業におけるスポーツデータ活用の導入」について、どんな実証実験を予定しているのか。(江原委員)

➢スマートフォンで利用できるコンディショニングアプリを導入を検討している。これは睡眠時間や食事のデータ、身体の動きなどのデータを収集し活用できるもの。部活動などにおいてデータに基づいた指導を行うなど、実証実験を行う予定。最終的には様々な場に集まったデータを活用し、市民に提供することを目標としている。(事務局)

➢医療の現場や高齢者の健康管理まで広がるのが理想的だと思う。(江原委員)

→7-1-1、7-1-2「学校教育 ICT 化推進事業」について、GIGA スクールやタブレットの配備などさいたま市でも ICT 化が進んだところかと思う。そういったこともあるので、アンケート結果という主観的な評価項目だけでなく、次世代教育ツールとして有効活用された時間や回数といった目標値を検討したほうが良いと思う。(宮本委員)

→資料の「さいたま市行政デジタル化計画アクション・プラン事業計画一覧(令和3年度)」について、スケジュールと目標を同じ列に入れず、また今年度の目標だけでなく昨年度の実績を入れることで、昨年度実績からの目標値の差を把握することができ、当年度の振り返りもしやすいのではないか。(宮本委員)

➢令和4年度からは前年度実績を掲載する。(事務局)

→アクション・プランと直接関係しないが、行政デジタル化計画を作成するにあたってアンケートを取った際、どんな行政サービスがあるのかわからないという意見が多数あったことから、市の周知不足という実態があると思う。これを受けてさいたま市で取り組んでいることがあるか。(秋山委員)

➢さいたま市において DX を進めていく中で、新たな取組についての情報を市民にどのように伝えていくか、という部分も重要だと位置付けている。(事務局)

→1-1-1「介護ワンストップサービス構築事業」について、これは現在実施に至っておらず、今後実施していくという認識でよいか。(吉浦会長)

➢今年度予算化準備を行い、令和4年度に予算化という流れで構築する予定。(事務局)

➢どうしても紙での提出が必要など、法律や制度上の問題で実現不可能なことはないか。そういった手続について整理し、それ以外の手続についてはオンライン化に向けて動くべき。また、市民サービスに直結する手続についてどのくらいオンライン化できるか見える形で出せるとよい。(吉浦委員)

→計画全体として、新規事業とシステムの更新が一緒になってしまっている。システムの更新を否定するわけではないが、この2つは分けて記載してもらいたい。加えて、この資料のみだと漠然としていて計画の内容が分かりにくい。(吉浦会長)

→2-4-7「介護認定システムにおける web 会議システム構築事業」について、そもそもこれは Web 会議で済んでしまう内容なのか。また、Web 会議とすることで実際に効率化につながるか疑問に感じた。(吉浦会長)

吉浦会長より、本日の議事終了の確認。

合わせて、本日の意見をまとめ、各デジタル化事業の進行管理に生かすよう事務局へ伝達。

■ 4 閉会

以上